



かんらんしや 観覧車

No. 91

YOKOHAMA RIVERSIDE IZUMI

発行:

障害者支援施設

[ホームページ](#)

よこはまりバーサイド泉



入居利用者さんクラフト講座作品

CONTENTS

ノーフットみんなもがんばっています！
 デイサービスより 入居者さんの生活 わかばより
 ボランティアより 洗濯室のお仕事紹介
 古布寄付のお願い その他



ノーリフト がんばっています! みんなも

市内障害者施設ノーリフト実践報告会



7月25日、当施設で「市内障害者施設ノーリフト実践報告会」が開催されました。市内の旧療護系施設でのノーリフトの取り組みについて、情報を共有しともに学びあい、交流

することで、すべての施設がよりよいケアを手に入れることを目的として企画されました。

各施設さまざまな取り組み状況が報告される中、横浜らいずではすでに人力での移乗介護は行っていないとの報告があり、その先進性に皆が驚かされました。またリエゾン笠間からは、ノーリフトを導入する過程で、介護を受けているときの利用者さんから、つらそうな表情が消えて、快適な顔になっているという報告がありました。たちほどがやからは、リビングでゆったり過ごす生活の中でのリフターの効果についてのお話もありました。

利用者職員共に快適なケアを行うこと、そして、笑顔の中で働くことができる介護文化を作るというノーリフトの目的に向かって、各施設ともに手ごたえを感じてきている様子が伝わってきました。



オブザーバーとして参加された、先駆的な実践を行っているシャローム浦上台からは、現場職員のアイデアによる介護方法の工夫の様子が報告され、ノーリフトケアの導入が現場の介護を変える力をもっている事が再確認できました。また、最後に日本ノーリフト協会の保田先生より、ノーリフトを進めていく上で「労働安全衛生の視点も重要」との示唆に富む講評をいただきました。

短い時間でしたが各施設の職員の皆さんが生き生きと研修をされている姿に、今後の横浜のノーリフトの推進に向けて大きな力を感じることができました。今後もこのような報告会を定期的に行っていくことで、横浜ではノーリフトが当たり前の文化になるよう頑張っていきたいと思えます。



短い時間でしたが各施設の職員の皆さんが生き生きと研修をされている姿に、今後の横浜のノーリフトの推進に向けて大きな力を感じることが

できました。今後もこのような報告会を定期的に行っていくことで、横浜ではノーリフトが当たり前の文化になるよう頑張っていきたいと思えます。



生活介護

デイサービスより

書道教室を開催しています!



7月より、毎月第1・第3木曜日に利用者さんを対象とした書道教室を開講いたしました。講師には地域のボランティアさんをお迎えしています。

デイサービスの書道教室の特徴として、2つが挙げられます。まず、一つは、何を書くか、どの文字を書くかを利用者さんがご自分で選ぶ点です。季節に合わせた題目や、その時の気分など、利用者さんが思うままに題材を選び、書いていきます。

二つ目は、利用者さんが納得のいくまで書くこ

とです。選んだ題目について、先生があたたかく、丁寧に、利用者さんの思いやイメージに寄り添った指導をさせていただきます。

これらの特徴により、毎回、利用者さんの思いが詰まった、味わいのある作品が生まれます。



利用者さんからは「思いのままに書けるので、毎回楽しく参加させていただいています」「毎回の講座が自分自身の励みになります」といった感想が聞かれました。



施設入所

入居者さんの生活

富士塚祭に参加しました！

当施設では、毎年夏の初めに、利用者の方々の夏のイベントとして、また、地域の皆様との交流のため、近隣地域の富士塚自治会の盆踊り「富士塚祭」におじゃましています。



参加にあたっては、車椅子の対応について富士塚自治会の皆様には多大なご配慮を頂いているところですが、今年は、参加者全員リフト付き車両での移動となり、会場付近での車両からの乗り下りの問題等、不安がありました。ところが当日の富士塚自治会の皆様のできばきと



ところが当日の富士塚自治会の皆様のできばきと

した交通誘導により、安全に対応することができました。

会場の富士塚幼稚園はいつも通りの盛り上がりで、屋台もたくさん出店しており、利用者の皆さんは、ご協力いただいたボランティアの皆さんやご家族と一緒に、盆踊りに興じる方、屋台の散策をする方など、三々五々それぞれのお祭りを楽しまれていました。利用者さんより「やっぱりお祭りは楽しいね！」との声も聞かれました。車椅子を利用している皆さんが、違和感なく参加できる盆踊りがある富士塚自治会の地域力に感激するとともに、地域の中で生活している実感を肌で感じることができた印象深い夏のひと時でした。



利用者さんより「やっぱりお祭りは楽しいね！」との声も聞かれました。車椅子を利用している皆さんが、違和感なく参加できる盆踊りがある富士塚自治会の地域力に感激するとともに、地域の中で生活している実感を肌で感じることができた印象深い夏のひと時でした。



児童の放課後等デイサービス

わかばより

夏休みの活動をご紹介します！



わかばに通っている子どもたちは普段は学校で過ごし、放課後にわかばに来ています。しかし7月、8月は夏休み！ということで朝から夕方までわかばで過ごしています。

夏休みの初めにはリバーサイド泉の入居者さんと一緒に昼食を食べたり、デイサービスの活動に参加して利用者さんと交流しています。大人のみなさんと一緒にカラオケで唄ったり、ゲームをしたり、作業の様子を見学したりもしました！

少し緊張している子もいましたが、大人のみなさんにたくさん声を掛けていただき、よい経験になったのではないのでしょうか？

そして暑い日が続いていたので、久しぶりに出ました！かき氷！みんなで氷を削り、好きなシロップをかけて食べました。他にも、水鉄砲や水風船を使って水遊びも行いました。楽しみながら涼むことができ、子どもたちも嬉しそうでした♪むしろ職員の方が楽しみ過ぎていたかもしれません(笑)



楽しみながら涼むことができ、子どもたちも嬉しそうでした♪むしろ職員の方が楽しみ過ぎていたかもしれません(笑)



通常の放課後は時間が限られているので、ばたばたしてしまいがちですが、夏休みは、ゆっくり過ごすことができます。様々な活動を行う事ができる



できるので、子どもたちの表情も豊かになっているように感じました。



ボランティア担当より



よこはまりバーサイド泉、デイサービスでは各活動・外出・イベントでボランティアさんの募集を行っています。



活動では、書道、フラワーアレンジメント、パソコン等のお手伝いです。またアイスやランチを食べに



行く外出、買い物時の外出などの付き添いがあります。

イベントではリバーサイド祭や地域



のお祭り等、年間を通じて一緒に盛り上げていって下さる方、お待ちしております。



ご応募、お問い合わせはこちら

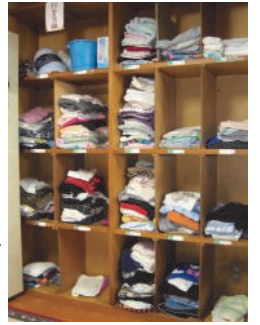
《受付》
ボランティア担当 松田》
045-804-2191



洗濯室のお仕事紹介



洗濯室では利用者さんの洗濯物を洗い、畳むお仕事です。着ている衣類が洗われ、畳まれている状態でお手元にあるのは当たり前のように思われるかもしれませんが、



しかし主に入所利用者さん約60名分の洗濯物を時間に追われ、回収し、洗い、乾燥させ、畳む業務は、実はとても骨の折れる仕事です。

洗濯室では入所利用者さんごとに棚があり、衣類を振り分けています。特に入浴のある日はバスタオルなど大量の洗濯物であふれ返ります。縁の下の力持ちとして、洗濯物一枚、いちまい、利用者さんの顔を思い浮かべながら、心地よく衣類を身に着けられるよう、支援しています。



エコキャップの寄付募集!

NPO法人ともにあゆむさんが回収しポリオワクチンとなります。※ペットボトルのフタのみの募集となります。ドレッシング等のフタはご遠慮下さい。《担当：岩瀬》



古布の寄付募集!

清拭に使う木綿の古布が不足しています。不要な古布がございましたら寄付していただけますと助かります。※化繊など木綿以外の古布は清拭に使えませんので、ご遠慮ください。《担当：坂井・吉田》

お問い合わせ

障害者支援施設 よこはまりバーサイド泉
〒245-0017 横浜市泉区下飯田町 355

TEL 045-804-2191
FAX 045-803-6239

E-mail: riverside-1@ysjk.jp
URL: http://www.y-riversideizumi.jp/

リバーサイド泉

検索



交通：よこはまりバーサイド泉まで、相鉄いずみの線「ゆめが丘駅」、市営地下鉄「下飯田駅」徒歩10分、「湘南台駅」徒歩19分



表紙の絵



さまざまな色紙をご自身でちぎって作りました。色合いに作者Oさんの感性が見て取れます。どんな気持ちで作ったのかを尋ねると「うん」と返されました。いろいろな意味をこめた「うん」と感じました。